

文部科学省委託事業
「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム」
(AIMaP: Advanced Innovation powered by Mathematics Platform)
平成29年度 AIMaP ワークショップ等審査基準（案）

平成 29 年 7 月 21 日
運営委員会申し合わせ

本委託事業において公募するワークショップ等については、本基準により審査委員会において事前審査を行い、その結果を運営委員会に提案するものとする。

(1) 審査の対象

以下の 3 条件を満たしているもののみ、審査の対象とする。

- ① 開催時期および開催場所 平成30年3月末日までに国内において開催すること。
- ② 主催機関あるいは運営責任者
主催機関は、国公立大学、大学共同利用機関、国公立試験研究機関、独立行政法人、または日本学術会議に登録された学協会、あるいはこれらの部局(専攻、研究科、研究部会等)であること(複数機関・部局による主催でもよい)。
- ③ 主催機関あるいは所属長の承諾
主催機関・部局(複数の場合はすべての主催機関・部局)の承諾が得られている、もしくは得られる予定であること。

(2) 評定要素

以下の評定要素について 4 段階で評価する。

評点区分	評定基準
4	優れている(とても当てはまる)
3	良好である(やや当てはまる)
2	やや不十分である(あまり当てはまらない)
1	不十分である(全く当てはまらない)

- ① 趣旨・目的
 - 本公募の目的に沿った提案をしているか。
- ② 解決すべき課題
 - 諸科学・産業が抱える課題について具体的に記述されているか。
- ③ 考えられる数学・数理科学的アプローチ
 - 課題解決に有効と考えられる数学・数理科学的アプローチが具体的に記述されているか。
- ④ プログラム
 - 提案の趣旨・目的の達成が期待されるものになっているか。
 - 特に、数学・数理科学研究者と諸科学・産業界の研究者・実務者とのバランスがとれているか。
- ⑤ これまでの準備状況(ワークショップ(奨励枠)の場合を除く)
 - 文科省と大学等の共催による連携研究ワークショップで発掘された課題をさらに掘り下げるなど、十分な準備のもとでの提案になっているか。
- ⑥ 会議終了後に考えられるフォローアップ
 - 会議終了後の協働体制のあり方や研究の進め方など、フォローアップについて検討されているか。
- ⑦ 支援の必要性
 - 本委託事業による支援が真に必要とされているか。
- ⑧ 申請経費
 - 計上されている経費は適正であるか。

(注意) 初回審査は ①, ④, ⑧ の3項目のみを評定要素とする。

①の評定において②の要素も加味する。

(3) 総合評価

上記の評定要素に関する評価を参考に、下表に基づいた総合評価を行う。

評点区分	評定基準
4	優れた提案であり、積極的に採択すべきである
3	優れた内容を含んでおり、採択すべきである
2	やや不十分な点があり、採択の優先度は低い
1	不十分な点があり、採択を見送ることが適当である

※ 本審査基準は、7月3日より公開する。